

かわしま 川島まさひろNEWS

発行
2013年秋号
第11号

●発行所：公明党川崎市議会議員団
●印刷所：株式会社光明印刷 川崎市幸区塚越4-345
●発行人：川島雅裕
川崎市中原区井田3-17-20-405
TEL：044-799-1021



平成25年第3回定例会 決算審査特別委員会

川島議員は、第3回定例会における決算審査特別委員会において①環境教育について②災害時要援護者対策について③高齢者への読み書き支援充実について質問しました。代表質問では「入札制度」を担当しました。

質問に立つ川島議員



環境 グリーンイノベーションの成果を環境教育に活用を!

川島議員は8月に鹿児島市「かんきょう未来館」を視察した際、年間に市内小学校148団体が訪れ、環境学習に活用している現状を紹介。それに対し、平成24年度に本市の環境学習施設である「かわさきエコ暮らし未来館」へ訪れた市内小学校は22校であったことを指摘。臨海部の太陽光発電メガソーラーが一望できる「かわさきエコ暮らし未来館」は、本市の先進的な環境への取り組みや低炭素社会実現に向けた環境学習に最適の施設であることから、市内小中学校の環境学習に施設を利用するよう要望しました。

防災 自主防災組織へ災害時要援護者避難に必要な支援拡充を!

東日本大震災以降、災害時要援護者の実態把握や自主防災組織との連携強化が進められています。しかし、各自主防災組織では具体的に災害時要援護者の避難をサポートする場合に使用する「車いす」「担架」「リヤカー」等の救護用具を備蓄するための場所や財政的な課題があることを指摘し、拡充を要望しました。

総務局長は、救護用具の未保有組織がかなりあることを明らかにし、「救護用具の備蓄の重要性や補助制度の活用などの説明を行いながら、備蓄が促進されるよう呼びかける」と答弁。被災時に避難の最前線になる自主防災組織での救護用具備蓄が推進されるよう取り組むことを約束しました。

福祉 高齢者への読み書き支援実現を!

現行の介護サービスには、高齢のため読み書きが不自由になった場合に、読み書きだけをサポートできるサービスが無いことを指摘。

今後、加速的に進む高齢化に対応し、読み書きが不自由になることで社会参加ができなくなることの無い様に、高齢者が個人のプライバシーを守られながら、読み書きの支援が気軽に受けられるサービスの設置を改めて要望しました。

入札制度

委託業務の入札制度改善へ!

庁舎清掃等の「委託業務」については、予定価格を業者からの見積りにより決定しているため、低価格競争になり品質の確保に問題があると指摘。財政局長は「設計積算に基づく予定価格の設定について検討を進める」と答弁。品質確保に向けた入札制度の改善を約束しました。

認知症への理解促進を!!

本年5月、国は65歳以上の高齢者における認知症有病率が15%と公表。

本市でも認知症疾患を有する高齢者が、約37,200人いることが明らかになりました。

本市でも認知症への理解を促進するため、一般市民向けの「認知症サポーター」養成に取り組んでいます。区役所やキャラバン・メイトによる地域での開催を進めています。

子どもの団体は体育館使用料免除!

学校施設開放における体育館利用について、平成26年1月から使用料が必要になります。

公明党川崎市議団として、子どもの団体については使用料免除を要望し、実現しました。

免除を受ける為には、減免団体登録申請を11月末日までに行う必要があります。年に1、2度しか利用しない場合でも減免団体登録申請をしていない場合は免除適用になりませんのでご注意ください。

9月6日 川崎バイオマス発電所(川崎区扇町)を視察

低炭素社会を目指し、グリーンエネルギーへの取り組みは重要な課題です。

国内最大級の本施設は、これまで産業廃棄物として処理されていた解体材や剪定枝、廃パレット等を原材料とするバイオマス発電所です。

神奈川県内は勿論、関東各所から原材料を18万トン収集。一般家庭の約38,000世帯が年間利用できる発電をしています。

本市では、今後もバイオマス発電所の設置が計画されていることから、現状の取り組みと課題についての視察にご協力いただきました。

視察報告



川島まさひろのホームページへアクセス!

(市民相談などお気軽に) www.kawashima-m.com/
声をかけてください。 ●ぜひ、一度アクセスしてください。

議会 電話:044-200-3361 FAX:044-245-4137 E-mail: kawashima@komei-kawasaki.com